

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分
 【発行日】平成 19 年 3 月 15 日 (2007.3.15)

【公開番号】特開 2001-322253 (P2001-322253A)
 【公開日】平成 13 年 11 月 20 日 (2001.11.20)
 【出願番号】特願 2000-144891 (P2000-144891)
 【国際特許分類】

B 4 1 F 33/00 (2006.01)

B 4 1 F 27/12 (2006.01)

B 4 1 F 33/10 (2006.01)

B 4 1 F 31/02 (2006.01)

【F I】

B 4 1 F 33/00 S

B 4 1 F 27/12 C

B 4 1 F 33/10 S

B 4 1 F 31/02 C

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 1 月 25 日 (2007.1.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 新ウェブ・ロールの帯状体を旧ウェブ・ロールの帯状体に貼付け、連続して帯状体を供給する帯状体連続供給手段と、版胴上に支持された刷版を交換する刷版交換手段と、次の印刷の折仕様に応じて折機の状態を切換える折機の折仕様切換え手段と、基準インキ膜厚分布までインキ量を減らすことができ、且つ、基準インキ膜厚分布に次の印刷に応じたインキ膜厚分布を重畳できるインキ供給手段とを備えたオフセット輪転機において、前の印刷より次の印刷に切換える為のスイッチを備え、前記スイッチからの第 1 の信号に応じて前記インキ供給手段によりインキ量を基準インキ膜厚分布まで減少させると共に前記帯状体連続供給手段により前記ウェブ・ロールの紙継ぎを行い、前記スイッチからの第 2 の信号に応じて前記刷版交換手段と前記折機の折仕様切換え手段を動作させ、前記スイッチからの第 3 の信号に応じて基準インキ膜厚分布に次の印刷に応じたインキ膜厚分布を重畳させるよう前記インキ供給装置を動作させることを特徴とするオフセット輪転機の切替作業の半自動化装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 4】

【課題を解決するための手段】

斯かる目的を達成する本発明のオフセット輪転機の切替作業の半自動化装置は、新ウェブ・ロールの帯状体を旧ウェブ・ロールの帯状体に貼付け、連続して帯状体を供給する帯状体連続供給手段と、版胴上に支持された刷版を交換する刷版交換手段と、次の印刷の折仕様に応じて折機の状態を切換える折機の折仕様切換え手段と、基準インキ膜厚分布までインキ量を減らすことができ、且つ、基準インキ膜厚分布に次の印刷に応じたインキ膜厚

分布を重畳できるインキ供給手段とを備えたオフセット輪転機において、前の印刷より次の印刷に切換える為のスイッチを備え、前記スイッチからの第１の信号に応じて前記インキ供給手段によりインキ量を基準インキ膜厚分布まで減少させると共に前記帯状体連続供給手段により前記ウェブ・ロールの紙継ぎを行い、前記スイッチからの第２の信号に応じて前記刷版交換手段と前記折機の折仕様切換え手段を動作させ、前記スイッチからの第３の信号に応じて基準インキ膜厚分布に次の印刷に応じたインキ膜厚分布を重畳させるよう前記インキ供給装置を動作させることを特徴とする。